

デュオハヤシ

フレンドリー コンサート

とっておき室内楽 XIII

～トークを交えて～



piano 林由香子 cello 林俊昭



PROGRAM

第1部

R. シュトラウス : トロイメライ Op.9-4
(1864~1949) : チェロとピアノのためのソナタ へ長調 Op.6

第2部

クライスラー (作曲と編曲) ~没後50年記念~
(1875~1962) : メロディ
アンダンティーノ
美しきロズマリン

ヴィラ=ロボス ~生誕125年記念~
(1887~1959) : Pequena Suite (ベクエーナ組曲)

クライスラー : ロンディーノ
フラスキータのセレナーデ

♪ 演奏後にミニパーティがございます。

2012年10月28日 (日) 3:00 p.m.

ヒルサイドプラザ・ホール [代官山]

¥4,000 [全席自由]

お申込み・お問合せ：079-428-1699 (中村)

デュオ ハヤシ

林 俊昭：チェロ 林由香子：ピアノ

林俊昭は、青木十良氏に師事し、70年桐朋学園高校音楽科を卒業後、渡米、ボストン大学でナイクラッグ氏に学ぶ。

林由香子は、桐朋学園高校、同大学で井口基成、高柳朗子、岡林千枝子の各氏に師事する。

2人は73年からデュオとしての活動を始め、77年に渡欧。ブリース、ナヴァラ、フルニエ、ヤニグロ等、世界的巨匠である各氏に師事。80年、ローマのサンタ・チェチリア音楽院室内楽科を満点で卒業後、イタリアを中心に60回余のコンサートなど活躍。2枚のCDがイタリア一流音楽誌より最高評としての5つ星を得る。

その間、ミュンヘン国際、マリア・カナルス、トラパニ国際、ヴィットリオ・グイ国際室内楽など、数多くの国際コンクールで優勝、入賞する。

87年、林俊昭が大阪フィルハーモニー交響楽団首席チェリストとして就任(95年まで在籍)のために帰国。その後は室内楽の普及を目指し、メインの活動である「デュオ ハヤシ リサイタル」の他に、イ・ムジチやベニス合奏団のコンサート・マスターを招いた室内楽シリーズ「デュオ ハヤシとイタリアの仲間たち」の全国公演を10回開催。大阪では、室内楽「隠れた名曲シリーズ」も第10回、東京での「デュオ ハヤシのとおき室内楽」は今回で第13回になる。

デュオ ハヤシは08年に結成35周年を迎え、帰国後これまでに5枚のCDをリリース、ヨーロッパ、アメリカへの演奏旅行も、15回以上行う。2011年にはイタリア・フェルモ市で、デュオハヤシのイタリアでの長年の活動を賞して「ジオルダニェロ賞」を授与される。

03年からはイタリア・クーブラ国際夏期音楽祭で、チェロと室内楽のマスタークラスのレギュラー講師として招かれるなど、若い音楽家の育成にも力を注いでいる。また、日本では鳥取、出石、和歌山で「室内楽講習会」を20年にわたり主宰する。

林俊昭は、東京藝術大学チェロ科講師を15年務め、現在は、徳島文理大学教授、名古屋音楽大学特別講師、日本センチュリーオーケストラ特別契約首席チェロ奏者、紀尾井シンフォニエッタ東京、サワカルテットのメンバー。また、01年、05年、10年の「1000人のチェロコンサート」では、コンサート・マスターを務めた。(05年の指揮者は、ロストロポーヴィチ氏)

●ヒルサイドプラザ・ホール付近案内図

TEL:03-3780-2029 (当日のみ)



●東急東横線代官山駅より徒歩3分

●東急バス洪71: 渋谷駅～洗足駅
[代官山駅入口] バス停より徒歩2分

●東急トランセ: ヒルサイドテラス前 下車すぐ
(渋谷駅南口発)